

# 公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団

## 研究助成費応募要領 平成23年度

### I. 研究助成事業の概要

#### 1. 助成対象研究分野

公益財団法人中山隼雄科学技術文化財団は「人間と遊び」という視点に立って科学技術の研究助成をすることを目的として、中山隼雄によって平成4年に設立された財団です。

これまでは「人間と遊び」という視点に立った、科学・技術・文化に関する研究開発、調査研究を広く対象としてきました。

本年度は、これまでと同様「人間と遊び」に関する基礎的、基盤的な研究について広く対象としますが、昨今のゲームをめぐる世界の状況から特に「オンラインゲームの教育利用」の領域の研究開発については重点的に配慮していくこととしております。

今年度における助成のカテゴリーは、次の3つとします。

- |        |                           |
|--------|---------------------------|
| 助成研究 A | ゲームの分野の研究に対する助成           |
| 助成研究 B | 「人間と遊び」に関する研究に対する助成       |
| 国際交流   | ゲームに関する国際会議の開催または参加に対する助成 |

#### 2. 応募資格

申請資格は、国内の大学、短大、高専、研究所等の非営利の研究機関に所属する研究者（大学院博士課程在籍者を含む）またはこれらに所属する申請者を代表とするグループとします。

なお、助成研究 A については所属長の推薦を必要とします。ただし、助成額が 100 万円以下で単年度の申請の場合には推薦の必要はありません。

### II. 本年度の研究助成事業

#### 1. 助成対象

この事業は、公益事業として行いますので、広く社会の利益のためになる研究内容等に対して助成を行い、特定の業界や愛好者団体などのみの利益をめざす共益事業については対象にしていらないのでご注意ください。

## 助成研究 A

### i 基礎的・基盤的研究

ゲームに関するハードの試作・実験、ソフトの制作・検証等を含む調査、研究、開発（ゲームの実証的制作を含む）で以下のものを本年度の募集対象とします。

- (ア) ゲームの本質および影響に関するもの。
- (イ) 教育、職業的技術、福祉、防災、その他社会的活動へのゲームの応用に関するもの。新たなシリアスゲームの可能性に挑戦するものを含む。
- (ウ) ゲームソフトの革新的な制作法に関するもの。
- (エ) 次世代ゲーム開発に資する新しい技術(ソフト、ハード、インタフェース等)に関するもの。
- (オ) ゲームに関わる音楽・映像等の表現技術に関するもの。
- (カ) ゲームに関連する新しいビジネスモデルに関するもの。
- (キ) その他

### ii 重点研究

最近、世界のオンラインゲームの進展には目覚ましいものがあり、また、世界的にゲームの面白さを利用して様々な社会的課題の解決に役立たせようというシリアスゲームの開発も進みはじめています。こうした状況の中で、世界に後れず、一定の地歩を確保していくためにはこの分野の発展を促せるような新しいコンテンツ、ツール、方法などの開発が喫緊の課題になっております。

同時に、シリアスゲーム、とりわけ学校教育や社会教育の分野で、オンラインゲームを通じて、仲間とのコミュニケーションをとり、楽しみながら、知識力判断力、忍耐力、集中力など社会で必要とされる能力の向上を図ることができるようなゲームの開発や、便利さなどと引き換えに失われた原体験のリカバリーができるようなゲームの開発など、新たな効用の開発も大いに期待されております。

このため、ゲームと遊びの研究を振興するという基本線に変わりはありませんが、本年度も引き続き、特に「オンラインゲームの教育利用」の分野に重点を置いて募集し、選考を行います。

(注) 助成研究 A は単年度助成を原則としていますが、2 年までの助成申請をすることが出来ます。複数年を希望する場合、全体の計画と年度ごとの計画を記載して下さい。継続を認めるかどうかは次年度の募集時に中間報告書を提出していただき選考委員会で判断いたします。

## 助成研究 B

「遊びの本質及び影響に関する研究」、「遊びに関する新しい概念やツールに関する研究」「遊びの社会的諸活動への応用に関する研究」その他助成 A のカテゴリーに属するもの以外の「人間と遊び」に係わる研究全般。

## 国際交流への助成

申請の時点で発表等の予定（投稿中を含む）がある等、申請者が主体的な役割を持つもので、かつ平成 24 年 1 月 1 日以降に開催されるものに限り  
ます。

(ア) 国際会議等の開催

開催が予定されるゲームに関する国際的な学会、研究集会、ワーキンググループ等の開催に要する費用の助成

(イ) 国際会議等への出席

ゲーム関連の重要な国際的な学会等に出席するための助成

## 2. 助成額（総額 3,500 万円）

助成研究 A 総額 2,700 万円以内に納まる件数（1 課題当り 400 万円以下）  
なお、複数年にわたる場合の助成額は総額で 500 万円以内、各年度では 300 万円以下とします。

助成研究 B 総額 700 万円以内に納まる件数（1 課題当り 100 万円以下）  
国際交流 総額 100 万円以内に納まる件数

(注) この金額は選考を行う場合の目安であって、応募状況によって変更することがあります。また、助成研究 A の総額には昨年度からの継続分を含んでいます。

## 3. 応募方法

募集締切 平成 23 年 10 月 14 日（金）（郵送の場合、当日消印有効）

提出書類 助成申請書 4部

（別紙の申込書を使用のこと：ワード形式及び pdf 形式のフォームは当財団ウェブページの募集要項から入手出来ます。）

- ・コピーしたもので結構です。
- ・添付資料のある場合は3部お送り下さい。
- ・記載スペースが不足する場合はスペースを拡大するか、または別紙を添付して下さい。
- ・提出された書類は返却いたしませんのでご了承下さい。
- ・推薦者の都合で「研究開発助成申込書（助成研究 A,B）への記入が困難な場合には別紙での提出でもかまいません。

#### 4. 助成の決定

方 法 財団の規約に基づく選考委員会において、厳正な審査を行い決定します。

通 知 平成 24 年 1 月中旬

送 金 平成 24 年 2 月下旬（予定）

ただし国際交流助成については、別途通知する期日

#### 5. 助成の条件

- (1) 平成 25 年 4 月 15 日までに研究成果報告書(A4 で 5 枚以上)及び A4 で研究成果発表会予稿集のための成果概要（様式については、リンク先の財団ウェブページ「研究成果発表会予稿集(成果概要)の様式」を参照)を提出すること。
- (2) 原則として申請内容に沿って支出すること。支出内容の変更の有無に拘らず簡単な支出内訳を添付すること。
- (3) 平成 25 年 10 月末に予定される財団の研究成果発表会で発表すること。
- (4) 発表内容を財団のウェブページに掲載しますので、発表要旨をご提出下さい。発表で使ったパワーポイントファイルや配布資料そのままでも結構です。

## 連絡先

### 公益財団法人 中山隼雄科学技術文化財団

〒104-0061 東京都中央区銀座三丁目15番8号

TEL (03) 6226-6161 FAX (03) 6226-6162

E-mail [mail@nakayama-zaidan.or.jp](mailto:mail@nakayama-zaidan.or.jp)

URL <http://www.nakayama-zaidan.or.jp/>

担当 内藤・横尾

### 個人情報の取り扱いについて

申請に係わる個人情報の取り扱いにつきましては、審査のために選考委員に開示するほかは、公表いたしません。なお採択決定分につきましては財団レポート及び財団ウェブページ上で氏名及び所属を公表いたします。